



(2) 結果と考察  
 ◎2010年(北朝半分のみ設置) : MS3頭

半周だけでは、侵入防止効果は低い！  
 5頭のうち4頭は、侵入無または1回侵入

設置前 ● 設置後 ●

瀬井・泉山 未発表データ

ヒカル MS成獣 : 5時間滞在

設置前 ● 設置後 ●

瀬井・泉山 未発表データ

防護柵設置によるニホンジカの行動変化 (H23調査の振り返り)

(1) 方法 : GPSテレメトリー

計9頭 (MS7頭、MS2頭) にGPS首輪を装着 (カラーコード、Yellowは、Type SHD、#9509)

表. 八島ヶ原湿原周辺でGPS首輪を装着したニホンジカの個体別侵入状況

名前	性別	体重 (kg)	推定年齢	追跡期間	2010年(半周)		2011(完全)	
					設置前	設置後	設置前	設置後
ワウ	♂	63	♂3歳	2010/5/12 ~ 2011/5/12	○	○	-	-
DP	♂	55	♂3歳	2010/5/20 ~ 2011/5/21	○	×	-	-
ハク	♂	40	♂2~3歳	2010/6/27 ~ 2010/8/13	-	-	-	-
マコ	♂	50	♂2~3歳	2010/6/4 ~ 2011/9/6	○	○	-	-
ワタ	♂	52	♂4~5歳	2011/4/21 ~ 2012/9/15	-	-	○	×
ヒル	♂	57	♂5~7歳	2011/5/20 ~ 2012/9/7	-	-	○	○
セイヤ	♂	36	♂2ヶ月齢	2011/5/20 ~ 2012/9/26	-	-	○	○
セコ	♂	56	♂3歳	2011/5/24 ~ 2012/6/9	-	-	×	×
ソウ	♂	54	♂3歳	2011/6/6 ~ 2011/12/13	-	-	○	○

注. 八島ヶ原湿原周辺でGPS首輪を装着したニホンジカの個体別侵入状況

(2) 結果と考察  
 ◎2011年(柵完成2011/6/24) : MS4頭 MS1頭

全周設置後は、侵入を制限できた！  
 2頭は侵入無、2頭は短期間で脱出。1頭は長期滞在。

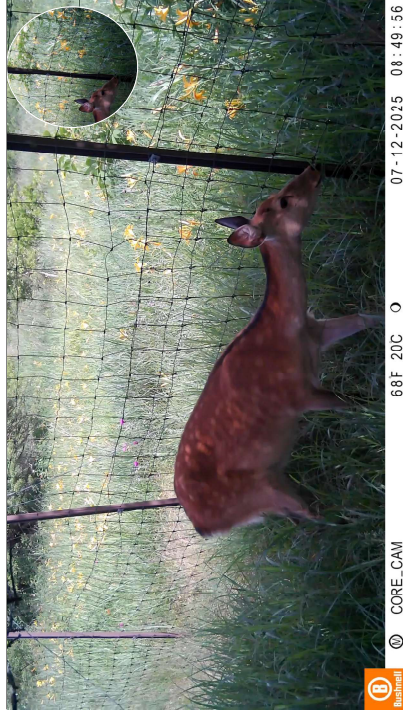
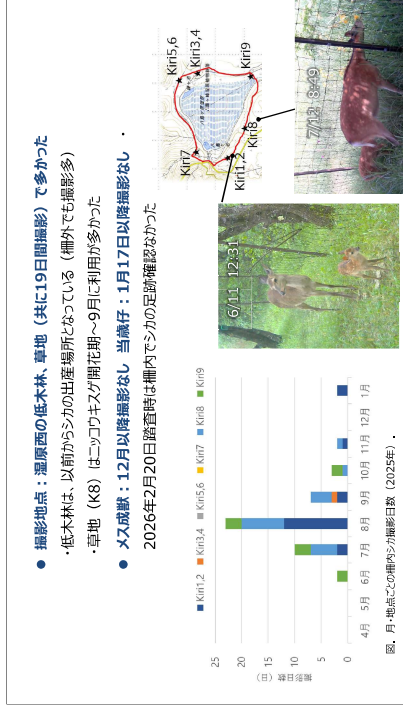
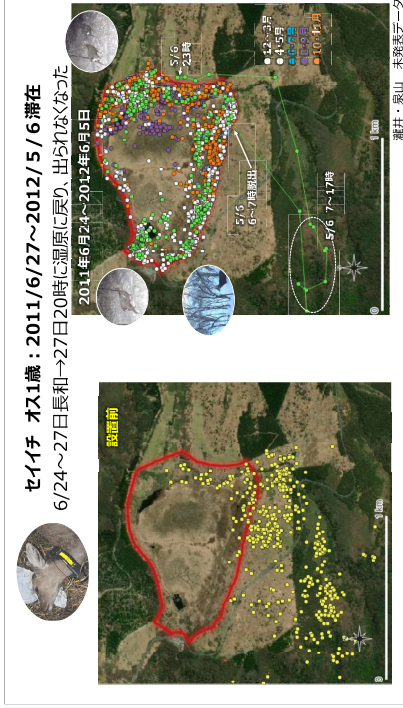
設置前 ● 設置後 ●

瀬井・泉山 未発表データ

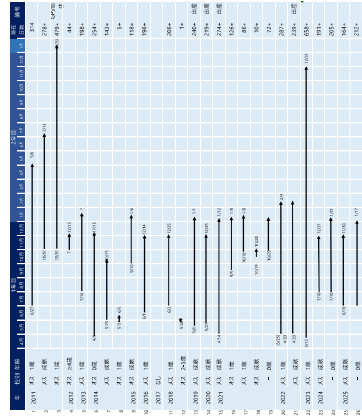
ラン MS成獣 : 6/25~7/3出入していた

設置前 ● 設置後 ●

瀬井・泉山 未発表データ



(2) 結果と考察 ② 2011年以降の侵入状況



- 2011年 (完成直後) 3頭が長期滞在
- 2012～2014年 複数同時滞在  
数日～254日滞在
- 2015～2020年 年0～1頭が侵入  
2019年、2020年：柵内出産
- 2021年 5頭が侵入 (メスは出産)
- 2022～2023年 早期にメスが侵入
- 2024～2025年 親子が初夏に侵入

- 侵入したシカがよく撮影された場所：低木林、雪知不沢、ニソコウキゲ群落
- 隠れ場所となる樹林近くの撮影が多い；樹林があるのはシカにとって好都合
- 2025年は、撮影日数が少なかった。カウラ設置地点以外を利用していた。

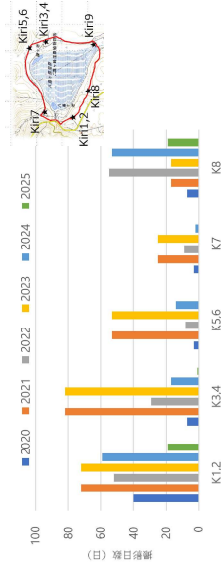
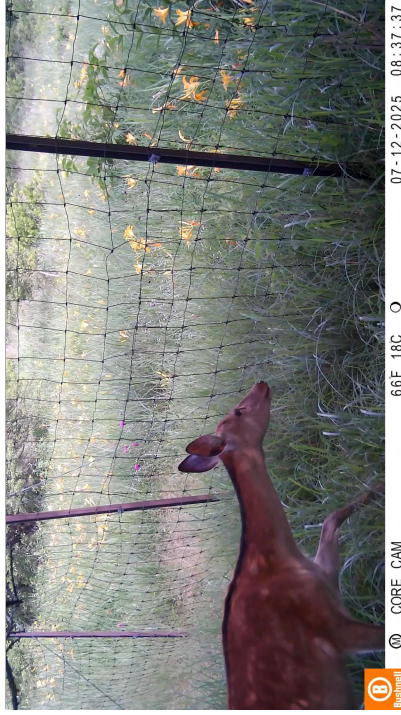


図1. 地点ごとの柵内シカ撮影日数の年変化 (2020-2025年)。



66F 18C O CORE\_CAM

07-12-2025 08:37:37

(2) 結果と考察 ③ 柵外のニホンジカの撮影状況

- 柵内に侵入したシカ
  - ・26頭 (オス9頭、メス16頭、当歳仔1頭)
  - ・メス成体4頭が柵内で出産
  - ・メスの侵入個体が多い；柵外メスが多い
- 侵入時期と滞在期間
  - ・4～6月、10月に侵入する個体が多い(産物成長期に多い)
  - ・6～9ヶ月の滞在が最多 (1年以上の長期滞在は少ない)

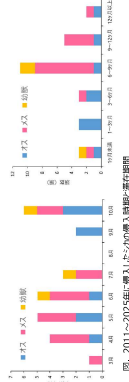


図. 2011～2025年に侵入したシカの侵入時期と滞在期間。

(2) 結果と考察 ④ 柵外のニホンジカの撮影状況

- 八島が繁殖期におけるシカの滞在期間
  - ・主に3～翌1月まで
  - ・撮影頻度は6月にピーク、9月まで高い。

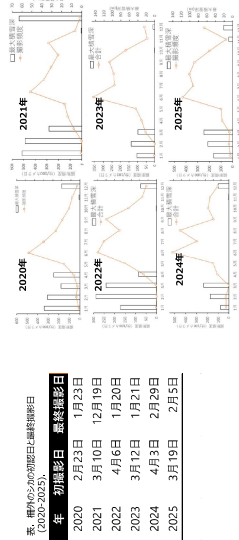


図2. 2020～2025年の柵外シカ撮影頻度と最大滞在期間の推移  
\*撮影頻度は雄成体と雌成体で示す

(2) 結果と考察 ⑤ 中・大型哺乳類の撮影状況

- 2025年：クマ、カモンカ、イノシシも撮影された

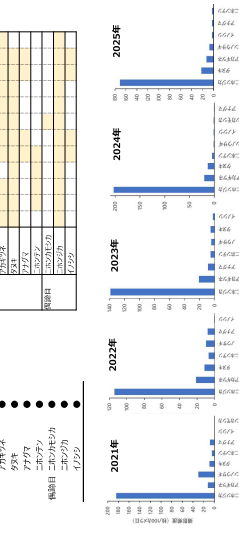


図. 2021～2025年の動物種ごとの撮影頻度。

(1) ツキノワグマ成獣 (2026/7/21、湿原南の柵内を移殖)



63F 17C ● 07-21-2025 20:10:04  
CORE\_CAM

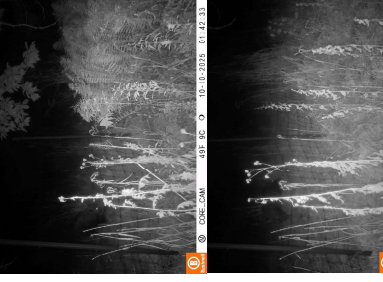
(2) ニホンカモシカ 2025/7/2 湿原北 (柵外) \*昨年と同一個体



64F 17C ● 07-02-2025 09:49:22  
CORE\_CAM



81F 5C ● 10-21-2025 27:03:21  
CORE\_CAM



57F 6C ● 11-10-2025 18:39:23  
CORE\_CAM

7年前にも撮影：ツキノワグマ亜成獣 (2018/7/26、湿原西)



07-26-2018 09:07:12

(3) イノシシ 2025/5/3, 6/7,10/1,10,21,11/9,10 (いずれも単頭) \*10M/1柵内に入る



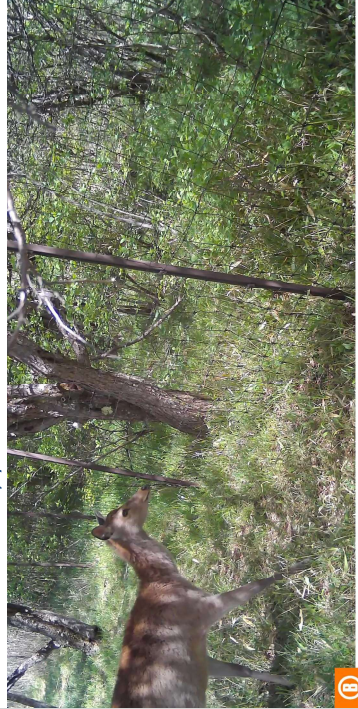
58F 14C ○ 06-07-2025 19:21:50  
CORE\_CAM

(4) アカギツネ 2025/6/19 仔シカを産んでいる



76F 24C ● 06-19-2025 11:27:45  
CORE\_CAM

(5) タヌキ 2025/5/28 (1歳のシカとタヌキ)



◎ CORE\_CAM

6/F 17C

05-28-2025 09:53:59



ご清聴ありがとうございました

### (3) まとめ

#### 【シカの侵入】

- ・2012年以降、シカの長期滞在はほとんどない
- (0.7m<sup>2</sup>×1~2頭/年量：熊谷倉庫係長の撮影)
- ・2025年：6月に侵入、1月末までに柵外へ
- ・よ(撮影されるのは樹林の近く)

#### 【イナシの侵入】

- ・2025年10月に初めてイナシが柵内に侵入
- 長期滞在させない

#### 【ウサギ/クマの侵入】

- ・2011年以降、クマの撮影は2018年と2025年のみ。いずれも7月で、一時的な利用。
- クマも植物を採食するために柵内に入った可能性

#### 【キツネによるシカの捕食】

- ・仔シカの死亡率は高いが、キツネに捕食された事例は少ない

#### 防犯柵の効果と課題

##### ■効果

- ・継続的な維持管理により、
- 遡原のシカ利用を制限可能
- ・希少な植物群をシカによる
- 累積的な採食責任が守られる

##### ■課題

- ・イナシの侵入
- ・フェンス下部からの侵入防止
- ・いつまで設置し続けるか？